

## 関東同窓会新年会に参加しました

上原 昇 (2組)

年が明けて3週間経った1月21日(土)の午後、関東同窓会新年会が千代田区一ツ橋の日本教育会館で開催され、久しぶりにリアル(会場)参加しました。

新年会の前には、今年初の幹事会が行われ、今年の総会の準備状況などが報告されました。

因みに、今年の第62回関東同窓会総会は6月24日(土)、いつもの如水会館で開催の予定です。この会もリアル参加できる形で実現することを願っています。

さて、新年会アトラクションはこちらも久しぶりにミニ演奏会が企画され、グランドハーブの竹内遥香さん(110期)とピアノの山極遥香さん(110期)、ダブル遥香さんによるデュオコンサートです。

今回の新年会は、会場参加のみとしたため人集めが心配されましたが、当日は49期(今年91歳)から110期(30歳)までの同窓生67名が参集して、この時期としては盛会となりました。

65期の参加は代表幹事の丸山暢久君(4組)、宮原豊君(9)、筆者の3人でした。演奏をしてくれたお二人は、名前が全く同じの同期生で、竹内遥香さんは北御牧出身、山極遥香さんは坂城出身です。お互いを「タケちゃん」「ヤマちゃん」と呼び合っているそうです。当日のプログラムは「サウンド・オブ・ミュージック」メドレーから始まり、葉加瀬太郎作曲の「情熱大陸」まで約10曲で、息の合った演奏を聴かせてくれました。

詳細については同総会HPで近々紹介されると思います。

コンサートを堪能した後は、会場を移して着座による食事会となりました。

この席でも司会から「おしゃべりするときはマスクを」という声掛けがあり、コロナ禍の中ならではの新年会となりました。立食と違い、自由に動き回って話すことが出来ないのは残念ですが、久しぶりに会った人もいて、マスク越しの会話が弾みました。

グランドハープのタケちゃん



ピアノのヤマちゃん



以上